

議会報告会実施報告書

開催日時	平成22年11月18日(木) 19時30分～21時30分	
開催場所	木津第二中学校 多目的スペース	
出席議員	班代表者 (=司会者)	宮嶋
	報告者	吉元
	記録者	深山
	班員 (上記以外)	森岡・中谷・中野・尾崎・大西・倉
一般参加者	9人	
質疑応答 の概要	<p>一問一答でなく、出席者の意見・要望など先に聞き、その後、一括して答弁を行った。</p> <p>Q) 二元代表制で大切な役割を担っている議員は一概に少なければ良い訳ではない。議会基本条例を完成させ、市民の話をよく聞いて市政に反映させて欲しい。</p> <p>Q) 国民健康保険税は世界的に見て素晴らしいが、しかし既に限界近くになっている。国や府に支援を働きかけるだけでなく、市も一定の補助をして欲しい。 木津川市の図書館は質が悪い。奈良市や精華町と比較しても劣っているため、奈良市の図書館でも借りることができるように欲しい。 きのつバスの200円の料金は高い。軽減に向け、議員も努力してほしい。</p> <p>Q) インターネット配信をさらに盛んにしてほしい。 議員を二人減らして、24人にすることが実現しそうだが、議員の報酬を上げなければ駄目だ。議員の質を上げて専任でやって欲しい。</p> <p>Q) 自治基本条例や倫理条例など早く作り、議員は国や府がやっていることを研究してほしい。議員の質を高め、木津川市全体のことを議論してもらいたい。</p> <p>Q) 議員同士の討議をしっかりとって欲しい。議員の報酬を思い切って上げ、それ相応の仕事をして欲しい。まちおこしで、市独自の銘酒を作るなど、木津川市の特産を育てて欲しい。</p> <p>Q) 税の徴収の仕方が悪い。前納制はなくなったが、請求用紙は一括払いができるようにしてほしい。</p> <p>Q) 庁舎前の本通りは、シャッター通りのように寂れている。活性化してほしい。 きのつバスの料金が2倍になっている。乗り換えの場合は、合計で200円にするべきだ。このままではますます乗客が減る。</p>	

<p>質疑応答 の概要</p>	<p>Q) 議会の最中に居眠りしている議員がいたり、質問をしない議員がいる。予算書を見ても財政が健全かどうか分からない。説明して欲しい。</p> <p>Q) 議会広報が説明不足だ。読む人に分かるようにして欲しい。 商工会の動きが見えてこない。働いていないと思う。反面観光協会はよく動いている。 市は収入の得られるものは積極的にやってもらいたい。市長に議会が要請すべきだ。 議会は政策提言を活発にやって欲しい。そのためには研修が必要になってくるので、政務調査費などは必要だ。</p> <p>Q) 優先度をつけて、生活インフラを優先するという姿勢であれば、瓶原の下水道はできるはずだ。 議会は、会派とかイデオロギーに固執することなく、議員一丸となって議会基本条例に従い、市民の生活を考えるようにして欲しい。</p> <p><議会側の説明及び答弁></p> <p>A) 議会の様子を家に居ながらインターネット配信で見る。録画中継もでき、議員の言動が明確に分かるようになる。11月22日の臨時議会からスタートする。</p> <p>A) 議会基本条例を元に、議会報告会などいろいろ行っていきたい。議員の自由討議も今後行っていかなければならない。自治基本条例も、市に作るよう申し入れたい。</p> <p>A) 仮に中学校を建設するとしたら、支払いに市の予算を全て遣うということはせず、いくらかの借金をしてその時代に利用する人だけでなく、後世の人たちも負担をして頂くようにするということがある。10年後くらいには、地方交付税が10億円くらい減らされることになり、今から節約財政に入っている。</p> <p>A) 広報は平易な文章にしたい。今までは討論は議員の名前を載せているが、今後は議会基本条例に即して、議員の賛否の態度表明を載せることも考えている。 会派に固執することなく、議員が一丸となってやれる場合と、議員それぞれ意見が違うのでそうでない場合もある。もちろん市長をチェックするのが議会であることは間違いない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成22年12月9日

木津川市議会議長 中野重高様

第4班代表者 宮嶋良造